

第五主日 さんび礼拝 午前 11:00-12:00
(YouTube 同時配信)

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 100 篇 1-5 節 (旧約 1037)

ワーシップ 主に栄光あれ (ひむなる 5)

主の前にひざまずき (Praise&Worship(赤)119)

大いなる方に (ひむなる 99)

聖名により集まるとき (One Voice 5)

ここも神の御国なれば (インマヌエル 96)

主の前にひざまずき (Praise&Worship(赤)119)

主の祈り

聖書朗読 創世記 1 章 26-27 節 (旧約 2)

ルカの福音書 10 章 38-42 節 (新約 136)

牧者公祷 (換気を行います)

説 教 『「礼拝」って何?』 松井 牧子 牧師

応答のとき

賛 美 ここも神の御国なれば (インマヌエル 96)

感謝祈禱 (献金の感謝とともに)

頌 栄 主に栄光あれ (ひむなる 5)

祝 祷

後奏・黙祷

* * *

報 告

【献金は週報に添付の封筒を用いて、入口の献金かごにお入れください】

インマヌエル王子キリスト教会 牧師:松井元始

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: immanuelojchurch@gmail.com

銀行振込:みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『「礼拝」って何?』 (創世記 1:26-27、ルカ 10:38-42) 2021.5.30. (M.M.M.)

<はじめに> 昨年 6 月 2 日に王子教会の牧師館に引っ越してちょうど丸 1 年、コロナ禍中の着任となり、お互いにとって異例のスタートでした。ネガティブな状況での制限のある礼拝、教会活動が 1 年以上たった今も余儀なくされています。そして、この状況は何時まで続くのか見当もつきません。今朝は王子教会での初めての礼拝メッセージ、「礼拝」とは何か?を共に御言葉に聞きましょう

I. 礼拝の本質=神様との「関係」(創世記 1:26-27)

1. 人間の創造(26)

神は仰せられた。『さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう』

2. 創造主は「われわれ」(26)

ヘブル語「エロヒム」複数形、伝道者の書「あなたの創造者」=ボレイカ=創造者たち

「われわれ」=父なる神・子なる神である主イエスキリスト・聖霊なる神

完璧な関係、麗しい交わり、完全な一致があった。「三位一体」

3. 神のかたち、神に似せて(27)

27 節には「(神が)創造される」が 3 回も繰り返されている。

かたち、似せて=神様にはボディとしての形はない。霊的な存在、いのち

「エロヒムの神」の間にあった完璧な関係を人と持ちたいと願われた。

私たちは、神様が持っておられる霊的な性質=「愛」と「聖さ」=を頂いた。

II. 礼拝のありかた(ルカ 10:38-42)

1. マリヤの礼拝(39)

「主の足元」:理想の礼拝の姿、主も喜び、推奨している。

主の顔を慕い仰ぎ見、主の声を聴く。他の者、声は見えない、聞こえない。

マリヤの礼拝のあり方は、理想的であり、模範的、それは本当に素晴らしいし、

イエスご自身がおっしゃる通り「ただ 1 つの必要なこと、良い方」

2. マルタの礼拝(38、40)

一般的にマルタの言動は「ダメな例」として取り上げられる。

「イエスを迎え入れた」(38)「いろいろなもてなしのために心が落ち着かず」(40)

行動でイエス様への愛を表す。それがマルタなりの礼拝のあり方だった。

ギリシャ語での「礼拝」は「公共奉仕」という意味の言葉が使われている。

3. 私たちの礼拝

このコロナ禍で家庭での礼拝では専念し、集中するには戦いがある。

<終りに>

- ・『礼拝』は、「主の招きにに応じて」「主の体であり、主にある共同体の家としての教会」に、それぞれの「生活から時と場所を聖別して集まり」「礼拝を受けるにふさわしい主」に「霊とまことをもって」「主にある家族と共に」「主への賞賛と賛美を捧げる」こと
- ・神によって霊的な存在として造られ、御子イエス様によって救われ、聖霊によって主を賛美し、礼拝するものとされた者にとっての喜び、祝福
- ・そして、それを共同体として主にある家族と共に礼拝を捧げ、御言葉と祝福を受け取り、共に分かち合える事は最高の喜び、祝福
- ・しかし、今は共同体として同じ場所で礼拝を捧げることが困難な時
- ・マルタとマリヤの礼拝は彼女たちの家。そこにマルタはイエス様を喜び勇んでお迎えし、マリヤは自分の家にイエス様のために場所を整え、その最前列、主の足元に座った。
- ・私たちが、家庭においての礼拝にマルタのように主を歓迎し、マリヤのように主の足元に座り、その御言葉に霊をもって聞き入り、主の臨在を感じ、主との豊かな交わりの中にある祝福を、それぞれの場所で、共に味わっていきましょう!